

**WFP 国連世界食糧計画 焼家日本事務所代表、国連 WFP 協会 安藤宏基会長が菅義偉首相を表敬訪問。
ノーベル平和賞受賞の報告と WFP への更なる支援を要請**

11月17日（火）国連世界食糧計画（WFP）の焼家直絵日本事務所代表、国連WFP議員連盟の高野光二郎会長、安藤宏基国連WFP協会会長がノーベル平和賞受賞の報告のため、首相官邸にて菅総理に表敬訪問を行いました。

冒頭、菅総理よりは、WFP のノーベル平和賞受賞について、祝意を表明した上で、今回の受賞は、これまで多くの紛争地、被災地での活動、また現在のコロナ禍の中にあっても WFP が食料支援を通じ、世界の飢餓と貧困の撲滅のために多大な貢献をしてきたことの証左である旨述べました。また WFP 議員連盟及び WFP 協会による、これまでの WFP の活動への絶え間ない支援に対し敬意を表されました。

焼家代表よりは焼家直絵日本事務所代表からは地球規模課題の解決には、多国間協調が重要であり外交安全保障、食料安定供給に資する。やはり日本といえば平和外交。補正予算も含め政府からの拠出金増額の協力要請をお願いしました。また国連WFP協会安藤会長からは民間支援機関の代表として、企業や日本国民も国連WFPを頑張って支援しており、この10年間WFP協会会長として続けてきた事、その結果として、民間からの寄付実績が10年前より3.1倍の年間18億円まで伸長させた。国連の食料支援を受けて成長した人たちも、必ず世界平和や日本に貢献してくれると発言されました。

国連WFP議員連盟の高野光二郎会長よりも菅総理のお時間を頂いたことへの感謝と今後とも議員連盟として飢餓の撲滅と平和構築のためWFPの活動を積極的に支援する事に取り組むたいとの発言がありました。

